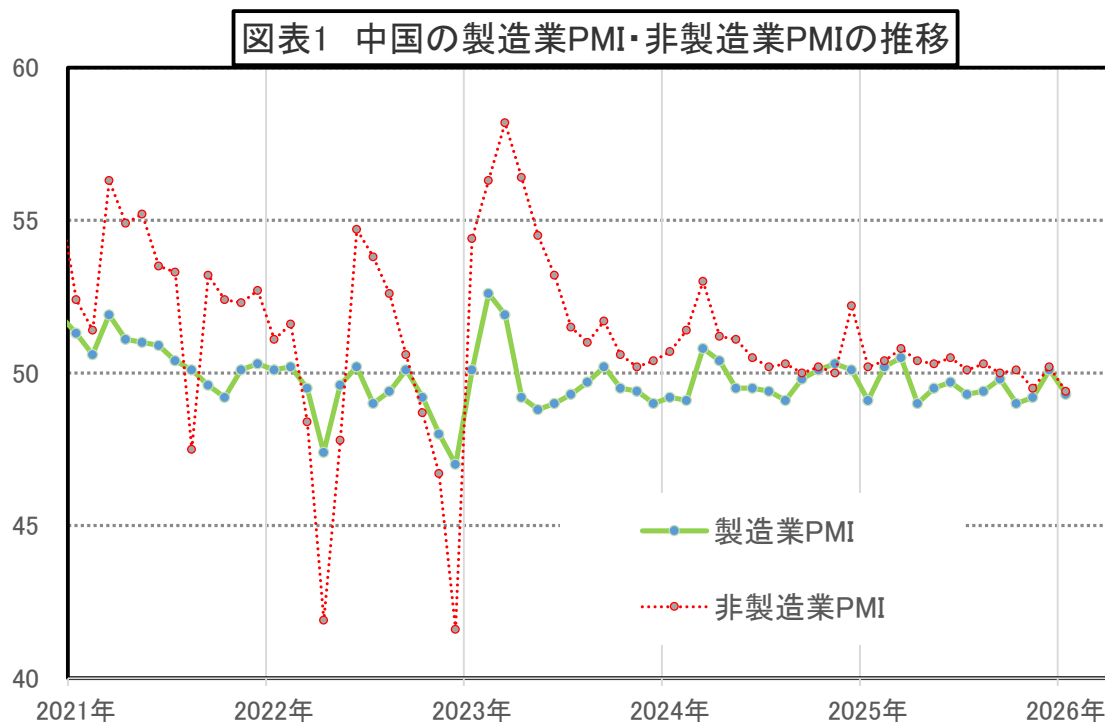


## (中国)1月の製造業・非製造業 PMI はいずれも 50 割れ

中国国家统计局が2026年1月31日に発表した1月の製造業PMI(購買担当者景気指数)は49.3となった(図表1)。25年12月から0.8ポイント低下し、再び景況感の分岐点である50を下回った。



(資料)中国国家统计局、windより作成、直近は26年1月。

50 割れとなった背景としては、①春節休暇(2月15～23日)を控えて従業員の帰省が進み、企業の生産活動が鈍化したこと、②新規受注指数と新規輸出受注指数が大幅に低下するなど、需要回復の勢いが弱く、生産拡大に慎重な姿勢が続いていること、などが挙げられる。

また、非製造業PMIも49.4となり、再び50を下回った(図表1)。業種別に見ると、サービス業は49.5と3か月連続で50を下回り、建設業は48.8と前月から4.0ポイント低下した。前述の春節休暇の影響に加え、寒波による作業環境の悪化で工事が一時停止したことも要因とみられる。

このように、足元では企業の景況感が悪化している。中国人民銀行(中央銀行)は1月19日に金融緩和措置を実施し、財政部(日本の財務省に相当)も1月20日に6つの財政措置を発表するなど、一連の景気刺激策を講じているが、今後はこうした政策の更なる強化が見込まれる。